

予算常任委員会

委員長 廣本 昌久

被災地支援経費その他を審査

◆被災地支援経費その他を審査
今定例会において、当委員会が付託を受けた2議案の審査を行うため、6月24日に予算常任委員会を開催しました。

- ◆放射線測定器の購入など原子力防災対策経費【新規】(339万円)
◆介護施設等開設準備経費補助金(2,100万円)
◆コミュニティ助成事業(マキノ町石場区集会所整備)補助金(1,500万円)
◆「ごみ減量大作戦」推進にかかる、ごみ分別指導経費(115万円)
◆鳥獣害被害の著しい集落の追い払い活動を支援する助成補助金(150万円)
◆高島地域地場産業振興センターの設備改修費補助金(163万円)

文教福祉常任委員会

委員長 梅村 彦一

児童遊園の遊具を地元区に譲与

◆児童遊園の遊具を地元区に譲与
6月7日、当委員会が付託を受けました10議案の審査を行いました。議案第33号から議案第41号の9議案は、朽木地域の児童遊園9施設の財産(遊具)を地元区に譲与するための議案であり、また議案第42号は遊具の譲与にともない、市児童遊園の設置および管理に関する条例を廃止するものです。採決の結果、10議案は、いずれも全員賛成で「可決すべきもの」と決しました。

一般会計補正予算の主な内容は

◆東日本大震災被災地支援経費【新規】(1,443万円)

議員研修会開催

福島第一原子力発電所の事故を受けて、高島市に隣接する福井県の原子力発電所等の安全対策について、6月28日(火)午後3時より研修会を開催しました。敦賀市に常駐している原子力安全・保安院の地域原子力安全統括管理官・原子力安全地域広報官である森下泰氏からプレゼンテーション形式で、図や表などを用いて説明を受けました。



(説明概要)

- 1、福島第一原子力発電所の事故に関し、原子力安全・保安院として事故防止に万全を期すことが出来なかったことのお詫びと同組織の使命について。
2、「我が国の原子力安全規制の概要」全国の原子力施設配置の状況、安全規制と防災対策を的確かつ迅速に実施するため、「原子力保安検査官事務所」(原子力保安検査官・原子力防災専門員が常駐)を設置していることについて。敦賀市等若狭地域には、6原子力施設で15基の原子力発電所があり、25名の検査官などが常駐し安全規制等に当たっている。
3、福島第一原子力発電所での事故についての概要と事故を踏まえた緊急に取り組むべき安全対策の実施は次のとおりとし、実施状況等は下の集約表の通りである。
(1) 緊急安全対策(津波高最大15m、全交流電源・海水冷却機能・使用済み燃料プール冷却機能喪失を前提とした対策)
(2) 電源の信頼性向上(動作可能状態の非常用発電設備2台の常備)
(3) シビアアクシデント(過酷事故)対策(中央制御室作業環境の確保ほか4項目)

緊急対策の結果(集約表)

Table with 3 columns: Emergency Safety Measures, Power Reliability Improvement Measures, and Severe Accident Countermeasures. It lists specific actions like equipment provision, training, and infrastructure improvements.

4、高経年化の影響と対応については、技術進歩を踏まえ古い炉に最新の炉と同等以上の安全性・信頼性確保の評価を行い、改善を進める。

議員から、多くの質問が出され、丁寧な回答をいただきました。今後、原子力安全・保安院として、考えられることは実施し、最終的には、自分たちの手で守り抜く覚悟であると説明されました。

市議会議員表彰

おめでとうございます!

市・町議会議員として長きに亘り議会の運営と地域の振興ならびに住民福祉の増進に貢献されたとして、全国市議会議長会および滋賀県市議会議長会において、粟津議員が表彰を受けられました。また、役員として重責を担われたとして、滋賀県市議会議長会より清水日出夫前議長に感謝状が贈られました。



■全国市議会議長会並びに滋賀県市議会議長会特別表彰

・15年以上 粟津 まり 議員



■滋賀県市議会議長会感謝状

清水 日出夫 前議長

表彰状の伝達は、6月29日に議場で行われました。